

平成 29 年度 関西福祉科学大学 入学宣誓式 学長式辞 (全文)

桜の花が満開となり、春の光がまぶしく溢れる
今日の良き日に、入学式を迎えられる皆さん、
入学おめでとう。

関西福祉科学大学教職員を代表して、皆さん
を歓迎致します。

来賓の皆様におかれましては、ご多用の中を
お運び頂き、共に入学を祝って下さることに篤
くお礼申し上げます。まず、新入生の皆さんに
玉手山学園、関西福祉科学大学について簡単に紹介しましょう。

本学は、1942年(昭和17年)玉手山女学校の設立から始まります。(日本が中国大陸から東南アジアに侵攻し、シンガポールやマニラを占領した戦争中の時代です)。したがって、創立75年の伝統を有しています。1997年に関西福祉科学大学が1学部で開学し、現在は5学部6学科 学生総数【約2600名】の中規模大学です。大学は20周年を迎え、8月27日には地域のみなさんや卒業生を招いて全学園あげてのお祭り(玉手山学園祭)を計画しています。もちろん皆さんもお祭りのメンバーです。積極的に参加して楽しんで欲しいと思います。

本学の教育について紹介しましょう。

学園建学の精神は「**感恩**」です。「すべての人間が幸せに」という福祉社会の実現に、科学的なモノの見方・考え方、行動様式を持って実践する人、併せて「**豊かな人間性**」、つまり、「思いやるこころを持つ人を育てる」ことを教育の理念として、カリキュラムを構成しています。

そのことを踏まえると、最近の世界情勢に見られる、自分が恵まれないことの原因を、自分とは異なる社会的集団に属する他者のせいにし、異質なものを排除しようとする傾向は、本学の設立理念とは真逆のものであると言えます。そのような傾向は、自由、平等、人権、実証科学、民主主義、立憲主義など、近代から現代にかけて、先人の努力によって人類共有の倫理となったものを歪める恐れが大いにあります。事実を意図的に偽ったり、論理ではなく感情ばかりを優先させたりして、自分の主義主張を押し通そうとする行為は、「全ての人が幸せな福祉社会の構築に、科学的に取り組むこと」を目指す本学の教育理念とは相容れないものです。



そこで、新入生の皆さんに一つお願いがあります。


皆さんは他者に目を向け、「誰かの役に立つ仕事に就きたい」という気持ちを持ち本学に入学されました。人間を相手にする仕事を選ぶ以上、世の中には自分と異なる多様な人間が存在することを了解し、それらの人々と協同して共に生きていくということを、常に志して学んでほしいと思います。そのためには「見たいものだけを見る」、「知りたいことだけを知る」といった姿勢をこの4年間は控えめにして、自分が苦手な人との付き合いやあまり関心が持てない事柄にも積極的に関わることを提案したいと思います。

皆さんは、おじいさんやおばあさんの世代の人が若いときに流行った美空ひばりや村田英雄の歌を知っていますか？あるいは、新しいドラえもん歌と踊りができますか？皆さんが社会に出たときに仕事の対象となる年齢の人たちの「思いや考え」（心理学の言葉で言えば認知構造）を理解し、溶け込んでいく能力は、好きな仲間と好きなスマホゲームをして時間を過ごすような学生生活では育たないと思います。スマホで自分が見たいサイトをサーフィンするだけでは「見たいものだけを見る」、「知りたいことだけを知る」だけになります。

イメージーションや知性、優しき、他者への思いやりは、自分とは相性の合わない人との付き合いや、関心が持てない事柄にも好奇心を持ち挑戦する姿勢から育つのではないかと思います。受け身ではなく、自らすすんで様々な事柄を学んで行かれるよう期待しています。最後に、保護者の皆様に改めてお礼と約束を申し上げたいと思います。本学を選んで頂いたことに感謝致します。未来を担う若者に、他者への優しい気持ちだけでなく、確かな知識、技術、しっかりとしたキャリア意識、仕事への倫理観を獲得してもらい、しなやかに・したたかに前向きに生きていく、そんな「持続する志」を修得して社会に送り出せるよう、われわれ教職員一同は全力を尽くします。

保護者各位、来賓各位のご協力とご支援をお願いし、新入生歓迎の言葉と致します。

平成29年4月3日

 関西福祉科学大学 学長 八田 武志

